

IGF 2023に向けた国内IGF活動活発化チーム第20回会合

ご注意:

- ご参加いただいた方はすべて議事録にお名前とご所属が掲載され公開されます。
- ご発言の際は以下をご了承の上ご発言ください。
 - 本会合での発言内容はすべて録音・録画されたうえで公開されます。
- ビデオをオンにされますと、ミュートしていても顔映像が録画公開される場合があります。

日時: 2022年6月20日(月)17:00-19:00

参加者(五十音順・敬称略):

場所: オンライン開催

司会進行: 加藤 幹之

資料:

1. [プログラム委員会からの進捗報告](#)
2. [ユース活動案](#)

アジェンダ:

1. 本日の打合せの目的確認 [5分]

- IGF2023ホストである日本政府としての準備状況の進捗報告および共有
- MAG会合の報告および共有
- 2022 秋イベント(日本インターネットガバナンスフォーラム2022 ~IGF2023 日本開催を見据えて)について
 - 拡大プログラム委員会について
- NRI組織枠組み・仕組みの素案について
- ユース活動の方針提案について
- チーム定例会合の運営方法について(議長/司会、運営規則を定めるか、等)

2. IGF2023ホスト(政府)としての検討状況報告 [5分]

3. 前回議論の振り返り [10分]

第19回会合の概要[資料]:

- IGF2023ホスト(政府)としての検討状況報告
 - 国連によるIGF2023に関する現地調査などについての検討状況
 - IGF 2022でのブース出展について
 - IGF 2022における、総務省によるセッション(オープンフォーラム)開催予定
- IGF MAGメンバーからの報告
 - 河内さん欠席のため実施せず
- 秋イベントについて
 - セッション募集状況:5月18日に開始、会合開催時点では応募なし
 - 企画セッション:拡大プログラム委員会が始動次第検討を開始したい
 - 開催日程:プログラム委員会で検討の上チームに提案する
 - 拡大プログラム委員会:なるべく広い範囲の人を追加した方がよい、プログラム委員会で候補を提案してほしい
 - チェア・副チェア:プログラム委員会で検討予定
- NRI組織枠組み・仕組みの素案について
 - 資料1から6について説明(前村)
 - (Todo 3.) 次回会合までに大きな方向性を決める(前村)
- ユースについて:資料7について説明(山崎)

- (Todo 4.) 次回までにコメントを反映し内容を固める(山崎)
- チーム会合の運営について
 - 加藤さんにチェアをお引き受けいただくことになった。
 - (Todo 5.) チェアについてチャーター反映が必要なのでメーリングリストで発議する(前村)

4. 宿題の進捗確認 [5分]

[Todo一覧表](#)を参照のこと

5. IGF MAG報告[5分]

6. 秋イベント(事前会合／本会合)について [15分]

- プログラム委員会での検討結果

7. NRI組織枠組み／仕組みについて [30分]

8. ユース活動について[10分]

9. チーム会合の運営について[10分]

10. 本日の議論を受けたTodo確認 [5分]

- 秋イベント
 - 特にないが、応募促進のために働きかけていただきたい、プログラム委員会内エンゲージメント担当だけでなく活発化チームの皆さんにも働きかけをお願いしたい
 - 次のステップではより広い範囲に流せるようにしたい
 - マスメディアにも伝えたい→プログラム委員会でも検討しては
 - イベントへの参加と、今後のロードマップとの関連を示せるとよい
- NRI組織枠組み
 - フォーラムと運営団体分界点文書改版
 - 設立趣意書改版
 - 働きかけ進捗あれば報告
- ユース
 - 募集要項、働きかけ先リスト、IGFとはの説明を作成
- チーム会合の運営:
 - チャーターにチェア設置について反映した案を作成する
- 次回開催日時:7月11日(月)17時-19時とする

11. 次回打合せについて[5分]

- 次回アジェンダ(たたき台)
 - 秋イベント
 - NRI組織枠組み
 - ユース
 - チーム会合の運営
- 次回打合せの開催時期(3週間おき開催が原則)
 - 候補日時:7月11日(月)17時-19時

12. その他 [5分]

-

以上